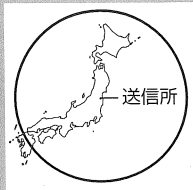


本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



CASIO P
電波時計
2408* JA

取扱説明書

2408

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱
いくださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本誌に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

◆本機の特長◆

● 正確な時刻を表示（電波時計）

日本の標準時刻をのせた長波標準電波 JJY（40kHz）を受信して、正確な時刻を表示します。

● アラーム

セットした時刻に電子音を鳴らすことができます。

● デイトアラート機能

設定した月日になると表示で知らせてくれます。

● ストップウォッチ

1/100 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 99 まで計測できます。


安全上のご注意


絵表示について この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例  △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)

 ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)

 ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー

② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等

③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

バッテリーマークについて	5	ストップウォッチの使い方	20
ライト点灯機能について	5	表示切替について	20
操作のしくみと表示の見方	6	計測のしかた	21
電波時計について	8	時刻・カレンダーの合わせ方	22
電波時計とは	8	セットのしかた	22
標準電波	8	製品仕様	24
電波の受信範囲の目安	9	ご使用上の注意	25
使用場所について	9	お手入れについて	27
受信方法について	10	電池交換について	27
電波受信のオン/オフ	11		
使用場所の設定のしかた	12		
時差一覧表	13		
サマータイムの設定/解除	14		
受信に関するご注意	15		
こんなときには	15		
アラームの使い方	16		
アラームのセット	16		
アラームのオン/オフ	17		
デイトアラート機能の使い方	18		
デイトアラートのセット	18		
設定した月日になると	19		

バッテリーマークについて

電池が消耗すると、バッテリーマーク「■」が点滅します。

バッテリーマーク



<注意事項>

- 「■」点滅中でもライト、アラーム、電波受信は行なえません。ただし、電池消耗を防ぐため、「■」点滅中はこのような操作はおひかえください。
- 「■」が点滅するときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。

ライト点灯機能について

どのモードでも **L** ボタンを押すと文字板が約3秒間発光し、暗いところでも表示を見ることができます。



<注意事項>

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

<カレンダー表示>

曜日 月・日 秒

①ボタン (午後マーク)

②ボタン (モード切替)

③ボタン (表示切替)

④ボタン (ライト点灯)

<UTC時刻表示>

UTC時刻(時・分)

⑤ボタン (表示切替)

★曜日の見方
SU:日 MO:月 TU:火 WE:水 TH:木 FR:金 SA:土

★表示切替について
◎ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

★UTC時刻について
UTCとは協定世界時のことで、Universal Time Coordinatedの略です。本機では、UTC時刻を24時間制で表示します。
※ UTC時刻はホームタイムに連動して表示されます。

タイムゾーンモード

モード名(ZO) 時差

10 9h 50

10:58

アラームモード

モード名(AL)

Al Off

12:00

アラーム時刻

ストップウォッチモード

スプリット計測マーク(SP) ラップ計測マーク(LA)

0:00 0:00

計測値

デイトアラートモード

モード名(DA)

12-24

月・日

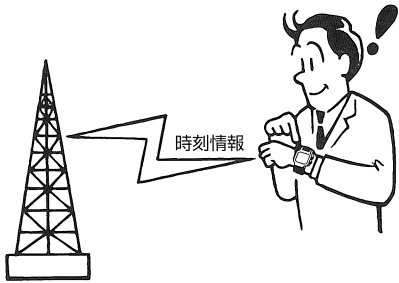
電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報（日本標準時）をのせた標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。本機は長波標準電波 JJY（40kHz）を受信します。

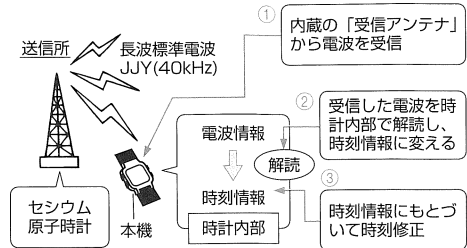
★ 標準時とは

日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。



■ 標準電波

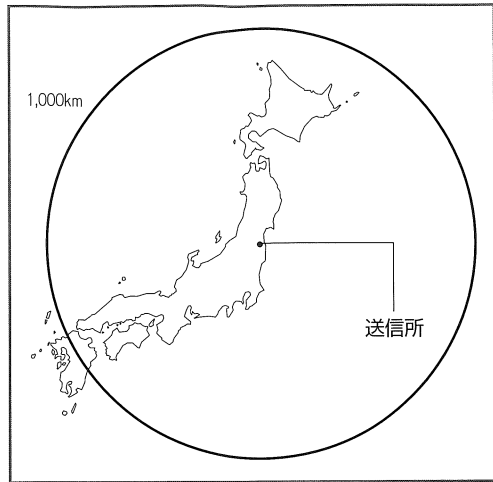
標準電波は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、長波標準電波は福島県田村郡おたかどや山の標準電波送信所から送信されます。この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。



■ 電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。また、受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによって受信できないことがあります。



■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



ビルの中およびその周辺
(ビルの谷間など)



高圧線、架線の近く



乗り物の中
(自動車、電車、飛行機など)



家庭電化製品、OA機器のそば
(テレビ、スピーカー、FAX、パソコンなど)



電波障害の起きるところ
(工事現場、空港のそばなど)



金属板の上、山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

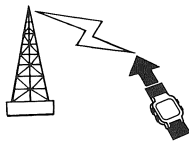
受信方法には、以下の2種類があります。

- ① 自動受信（午前3時に自動受信します）
- ② 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

● 受信前の準備

受信しやすくするために、本機を腕からはずし、時計上部（12時位置）のアンテナを電波送信所方向に向けます。



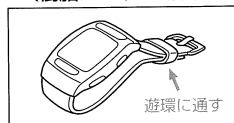
●時計上部が電波送信所方向（9ページ参照）に対してまっすぐ向いていないと、受信しにくくなります。

●受信中、時計を動かさないようにしてください。

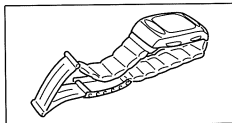
● 受信感度を上げるために

電波時計の受信感度を上げるために、腕からはずしたときは下図のようにできるだけ表示面を上にして置いてください。

〈樹脂バンドの場合〉



〈金属バンドの場合〉



● 受信時間は？

受信時間はおよそ2～5分です。

● 手動受信

時刻モードのとき

① ボタンを約3秒間押し続けます

確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は、受信マーク“電”が点滅します。

★受信を中止するときは

② ボタンを約3秒間押しします

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正します。
※受信マーク“電”が点灯します。

★受信が失敗すると

時刻修正は行ないません。
※受信マーク“電”は点灯しません。

● 受信マーク

受信が成功すると、受信マーク“電”が3日間点灯します。



■ 電波受信のオン/オフ

1. タイムゾーンモードにする

時刻モードのとき

③ ボタンを押します

タイムゾーンモードに切り替わります。



2. セット状態にする

④ ボタンを約3秒間押し続けます

時差が点滅します。



3. 自動受信切り替えにする

⑤ ボタンを押します

ON または OFF が点滅します。



4. 切り替える

⑥ または ⑦ ボタンを押します

⑥ または ⑦ ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。



5. 切り替えを終了する

⑧ ボタンを押します

点滅が止まります。

※電波受信のオン/オフで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■ 使用場所の設定のしかた

お使いになる地域の時差をセットします。
本機は工場出荷時および電池交換後は「時差=9h(日本)」
に設定されております。

※設定が異なるときは、以下の操作でセットします。

● 時差のセット

1. タイムゾーンモードにする

時刻モードのとき

Ⓒ ボタンを押します

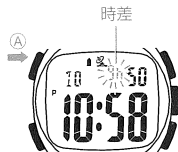
タイムゾーンモードに切り替
わります。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約3秒間押し
続けます

時差が点滅します。



3. セットする

Ⓑ または Ⓓ ボタンを押し
ます

Ⓑ ボタンを押すごとに1つ
ずつ進み、Ⓓ ボタンを押すご
とに戻ります。

※押し続けると早送りします。
※時差は-12h~12hの範囲で、1時間ごとにセットでき
ます。



4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※時差のセットで表示を点滅させたまま2~3分すると、自
動的に点滅が止まります。

■ 時差一覧表

時差	同一標準時の都市	時差	同一標準時の都市
-12		±0	ロンドン、ダブリン
-11	パゴパゴ	+1	パリ、ローマ、マドリード、フランクフルト
-10	ホノルル、パペーテ	+2	カイロ、エルサレム、アテネ、ヘルシンキ、 ペイルート
-9	アンカレジ、ノーム	+3	ジッダ、クウェート、モスクワ
-8	ロサンゼルス、サンフランシスコ、ラスベガス、 シアトル	+4	ドバイ、アブダビ
-7	デンバー、エルパソ、エドモントン	+5	カラチ
-6	シカゴ、ヒューストン、ダラス、メキシコシティ	+6	ダッカ
-5	ニューヨーク、モントリオール、マイアミ、 ボストン	+7	バンコク、ジャカルタ、ハノイ
-4	カラカス、サンティアゴ	+8	香港、シンガポール、クアラルンプール、 北京、台北、マニラ
-3	リオデジャネイロ、サンパウロ、 ブエノスアイレス	+9	東京、ソウル、平壤
-2		+10	シドニー、グアム
-1	アソレス諸島	+11	ヌーメア、ポートビラ
±0	<グリニッジ標準時>	+12	ウェリントン、クライストチャーチ

※この表は2000年12月現在作成のものです。

※時差はグリニッジ標準時(世界協定時:UTC)を基準としたものです。

■ サマータイムの設定/解除

1. タイムゾーンモードにする

時刻モードのとき

ⓐ ボタンを押します

タイムゾーンモードに切り替わります。



2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

時差が点滅します。



3. サマータイム切り替えにする

ⓐ ボタンを2回押します

On または OFF が点滅します。



4. セットする

ⓐ または ⓑ ボタンを押します

ⓐ または ⓑ ボタンを押すことに、オンとオフが切り替わります。

※オンにすると DST マークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。



5. セットを終了する

ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※サマータイムのセットで表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ 受信に関するご注意

- 自動受信はどのモードのときでも行なわれます。
- 受信中にボタン操作を行っても、受信し続けます。
- 受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼・夜)などによってうまく受信できないことがあります。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
- 本機は日本で送信されている電波に合わせて設定されていますので、日本国外および日本の電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
- 電波受信を行なわないときは、製品仕様に記載の精度範囲で動きます。
- 極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
- 受信中にアラームが鳴ると、受信を一時中断します。報音終了後、受信を再開します。

■ こんなときには

手動受信ができない

原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。電波受信の設定が OFF のときは、手動受信はできません。

処置：手動受信は時刻モードで行なってください。11ページをご覧ください。電波受信の設定を ON にしてください。

「受信ON」に設定しているのに「曇」マークが消えている

原因：“曇”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに3日間点灯します。“曇”マークが消えているときに、一日に一度も受信に成功していない場合は“曇”マークは点灯しません。

処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。「受信成功」しやすい環境で使用してください。また、手動で時刻修正をすると、“曇”マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：サマータイム設定が ON になっているか、時差の設定が「9h (日本)」以外になっていませんか。

処置：1時間進んでいるとき (DST マーク点灯) はサマータイム設定が ON になっています。また、大きく違っているときは時差の設定が「9h (日本)」以外になっている可能性があります。サマータイム設定については14ページ、時差設定については12ページをご覧ください。正しく合わせてください。

アラームの使い方

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると 30 秒間の電子音で知らせてくれます。

■ アラームのセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます

「時」が点滅します。
※アラームマークが点灯します。



2. 「時」をセットする

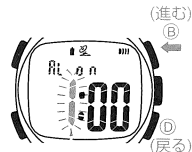
Ⓑ または Ⓓ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※「時」のセットのとき午前/午後にご注意ください。

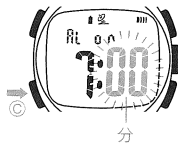
※基本時刻を 24 時間制表示にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制表示となります。



3. 「分」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

「分」が点滅します。

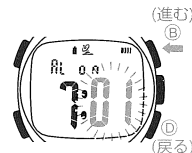


4. 「分」をセットする

Ⓑ または Ⓓ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。



5. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※アラームのセットで表示を点滅させたまま 2~3 分すると、自動的に点滅が止まり、アラーム表示に戻ります。

● 鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押します。

■ アラームのオン/オフ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

押すごとにアラームのオンとオフが切り替わります。



デイトアラート機能の使い方

デイトアラーム機能は、誕生日など設定した月日になると“TODAY!”マークが点滅して知らせてくれます。
※工場出荷時は、あらかじめ12月24日でセットされています。

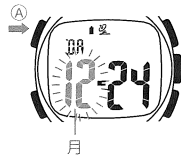
■ デイトアラートのセット

1. セット状態にする

デイトアラートモードのとき

Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

「月」が点滅します。

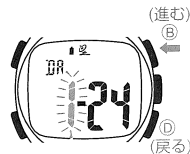


2. 「月」をセットする

Ⓑ または Ⓓ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。



3. 「日」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

「日」が点滅します。

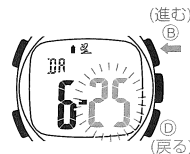


4. 「日」をセットする

Ⓑ または Ⓓ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。



5. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※デイトアラートのセットで表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まり、デイトアラート表示に戻ります。

■ 設定した月日になると

時刻モードのカレンダーと設定した月日が一致すると、どのモードでも“TODAY!”マークが点滅して知らせてくれます。

※他の月日に設定を変更すると、点滅が止まります。

“TODAY!”マーク



ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは1/100秒単位で99時間59分59秒99（100時間計）まで計測できます（計測範囲を超えると、計測値が0にリセットされます）。

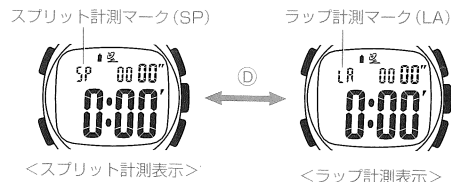
計測は通常計測、積算計測、スプリットタイム（途中経過時間）計測、1着・2着同時計測、ラップ計測ができます。

表示切替について

ストップウォッチモード（計測リセット状態）のとき

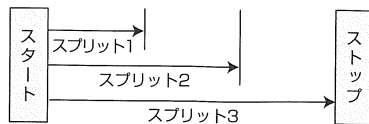
ⓓ ボタンを押します

ⓓボタンを押すごとにスプリット計測表示とラップ計測表示とが切り替わります。



● スプリットタイムとは

スタート地点から任意の地点までの経過時間のことです。
例：マラソンの10Km 地点まで走ったときのタイム。



● ラップタイムとは

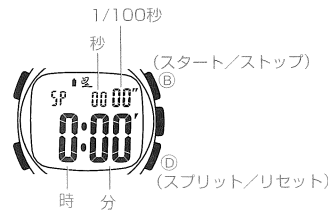
任意の区間（周回競技では1周分）を進むのに要する時間のことです。

例：陸上、モータースポーツなどの周回競技での1周あたりのタイム。



計測のしかた

- ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。
- 計測がストップしているときにⓓ ボタンを押すと、0時間00分00秒00（リセット表示）になります。
- 計測中にⓓ ボタンを押すと、スプリットタイム/ラップタイムを計測します（表示は止まりますが、内部では計測を続けています）。



● 通常の計測



<積算計測>

ⓓボタンがある場合は、ストップ後リセットせずにⓓボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

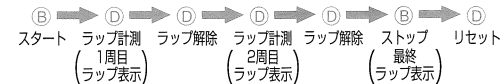
● スプリットタイム計測…スプリット計測表示(SP)



● 1着・2着同時計測…スプリット計測表示(SP)



● ラップタイム計測…ラップ計測表示 (LA)



時刻・カレンダーの合わせ方

時刻とカレンダーは、「電波受信オン」にしておくと自動的に正しく修正されますので、通常は修正する必要はありません。電波受信ができないときや、「電波受信オフ」にしてあるときなどは、ここで説明する操作にしたがって合わせてください。

■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

① ボタンを約3秒間押し続けます

12hまたは24hが点滅します。



2. 12/24時間制を選ぶ

② または ③ ボタンを押します

② または ③ ボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。



3. 「秒」のセットに切り替える

④ ボタンを押します

「秒」が点滅します。



4. 「秒」を合わせる

⑤ または ⑥ ボタンを押します

「00秒」からスタートします。

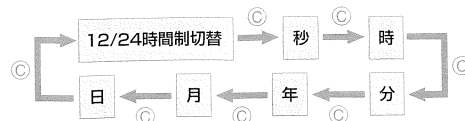
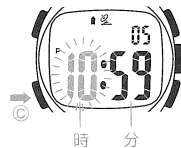
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。



5. 切り替える

⑦ ボタンを押します

⑦ ボタンを押すごとに、セット箇所(点滅箇所)が以下の順で移動します。



6. セットする

⑧ または ⑨ ボタンを押します

⑧ ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑨ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。



⑦ ボタンを押してセットしたい箇所を移動させ、⑧ または ⑨ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※「時」のセットのとき、午前/午後(P) および24時間制(24)にご注意ください。

※「年月日」は西暦で2001年1月1日～2098年12月31日までセットできます。

※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

7. セットを終了する

⑩ ボタンを押します

点滅が止まります。

※時刻・カレンダーのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 電波受信による時刻修正が行えない場合は、月差±20秒以内

基本機能: 月・日・曜日・時・分・秒・午前/午後(P)/24時間制表示
フルオートカレンダー(2001~2098年)
UTC時刻表示(24時間制)

電波時計機能: 自動受信(午前3時)、手動受信、受信オン/オフ切替

受信電波=長波標準電波 JJY
周波数=40kHz

アラーム機能: セット単位=分 電子音=30秒間

デイトアラート機能: 月日を1本メモリー
「月日」一致報知機能

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒
計測範囲=99時間59分59秒99
(100時間計)
通常計測、積算計測、スプリット計測、1着・2着同時計測、ラップ計測

セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、時差セット機能(25タイムゾーン)、サマータイム切替、アラームセット機能

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切替、ELバックライト、バッテリーマーク表示

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

使用電池: CR-1620(電池別途販売)

電池寿命: 約18ヶ月

(1日あたり
電波受信を3分、ライト3秒、
電子音30秒使用した場合)

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキndaイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。

防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。

■磁気

- 磁気の影響はありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
 - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - ※汚れにより酸素が断られると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
 - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
 - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
 - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行いません。(防水検査は別途有料となります)

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。